

事故から12年 福島第一原発を視察、東電と話し合う

千秋病院 放射線科 森賢洋

4月28日、福島民医連主催による福島第一原発の視察に参加しました。私は事故1年後の2012年にも原発内に入りまし



バスで構内へ

福島第一原発は、大熊町、双葉町にまたがり、南北約3・4km、東西約1・5km、面積は350万㎡あります。富岡町の廃炉資料館に集合し、マイクロバスで福島第一原発に向かいました。新事務本館前(2016年10月完成)

現在は写真撮影禁止、携帯電話の持ち込み不可のため、空港にあるような全身の金属チェックを行ないます。個人線量計、マスクや手袋などの装備を受け取り、マイクロバスに乗って出発です。

敷地内に汚染水のタンクがびっしり並んでいる様子を見ながら1〜4号機全景を見ることができ、高台で降車しました。

1、2号機から100mほど離れた高台(高さ35m)から見学しました。



ずらりと並ぶタンク

今も高い放射線量

視察で回った中で最も放射線量が高かったのがこの高台です。1時間あたり約0・1ミリSv(シ

ベルト)でした。10時間ここに滞在すると、一般人の年間許容限度の1ミリSvになる計算です。原発から今なお強い放射線が放出されていることは明らかでした。原発構内には「ポケモンGO禁止」の張り紙がありましたが、さすがにここでやる気にはなりません。

その後は海側に移動し、現在問題になっている処理水(汚染水)の海洋放出のための建設現場を見学しました。ALPS(シ

マイナンバー学習会 おかしいことには声を上げよう

4月20日、事務職員学習会「マイナンバーがもたらす社会」を開催しました。新入職員を含め、26人の職員が参加しまし

た。マイナンバーの利便性や今後起こると考えられる問題点について発表を行ない、気づいたことや自身の考えをグループごとに話し合いました。発表前にアイスブレイクを取り入れ、意見交換を円滑に進められるように運営の工夫をしました。

たと思います。少しハードな動きではあったため「きつい」と感じる職員もいましたが、清々しくすっきりとした気持ちになることができました。

外来の職場の雰囲気がよくないと、患者さんにも良い印象を感じてもらえないのではないかと思います。

発表会の演題はDVDでご覧いただけます。

尾張健康友会 本部
0586(76)0003



健友ネット集會 学術運動交流発表会より 就業前の腰痛予防体操が心身に及ぼす効果

千秋病院 外来看護 松原史江

外来には、腰痛を抱えている職員がいます。そのため、健康的に長く働き続けられ、仕事のモチベーションを高めることを目的とし、腰痛体操をするこ

としました。週に3回、始業時に3分程度、ユーチューブ動画を用いて出勤者

全員で行ないました。実施期間が短かったこともあり、腰痛改善効果が得られたという評価はできませんでしたが、運動をした日と運動をしなかつた日のスタッフの表情は

違い、運動をした日は朝から元気になったという意見も聞かれ、仕事への意欲も感じる事ができ

ました。



現在、国民の大多数がよく理解できないまま運用が始まっています。運用が開始されて「終わり」ではなく、不具合やおかしいと思ったことに対して、私たち自らが声を上げていくことが大切だと感じました。

熊谷 梨花

みんなで作ろう 憲法かるた

班会などで「平和」と「憲法」を考える時に使える「憲法かるた」の制作を予定しています。みなさんが考える、平和と憲法の「かるた」の字札、絵札をご応募ください！

6月号では、「あ〜た行」の作品を募集します。採用された方には図書カードを進呈いたします。

お問い合わせ
尾張健康友会本部 ☎0586-76-0003

参加者募集

第2回「介護しているアナタ!お話し職きます」
～認知症・介護支援の達人!ここに参上～
認知症認定看護師と認知症介護指導者に介護の悩みを相談できます。

■日時 6月23日(金)
13:00~15:15
(おひとり30分程度)

■会場 デーエスビル
(コミュニティプラザ友)

■対象者 ご家庭で介護されている方

■申込み 先着順(事前のお申込み必要)

■締切日 6月15日(木)

◎問い合わせ・申込み
一宮市地域包括支援センター
まちなか
☎0586-85-8672(平日9時~17時)

処理装置でろ過しているといえど、説得しようと数字を並べて、海洋放出ありきで話が進んでいきます。現状は、漁業で生計を立てている県民の感情を逆なでしているのは明らかでした。

東電との座談会で
視察後、東電との座談会がありました。廃炉への莫大な費用はどこから出ているのか。回答ははっきりせず、のらりくらりとかわされます。高線量の放射線デブリの処分はどうするのか?の問いには「決まっていな

い」と言いました。東電と国は「事故後、30年から40年後までには廃炉完了」と言っています。この数字の根拠は?の回答は「目標はないといけない」でした。まったくばかげた回答でした。東電や国が掲げる数字は、巨大プロジェクトを確実に進めるための現実的な数値というより、精神的な目標にすぎないようです。

今より多くの人に、この施設を実際に見て、日本のエネルギー問題の異常さを実感してほしいと思います。